



○「続 豊かさとは？」 椎葉村-仙人の棚田 (宮崎県観光協会 HP より) ⇒ 「日本三大〇〇」というように、代表的なものを三つであらわすことがあります。例えば、日本三景。松島(宮城県)、天橋立(京都府)、宮島(広島県)は有名です。昔はインターネットもなかったので、趣味の切手収集などで日本三景を知り、切手を眺めては本物を見たいという気持ちになり、図書館で旅行雑誌や写真集を探したこともありました。サザエさんのエンディングで素敵な場所を知り、いつか行きたい気持ちになったものです。今は、インスタ映えという言葉があるように、スマホなどで容易に日本や世界の素敵な場所を共有することができます。日本三大夜景というのがあります。多くは、札幌市大倉山、神戸市摩耶山、長崎市稲佐山から見る夜景とすることが多いようです。それが世界三大夜景となるとなぜか、香港、函館、ナポリとなるようです。人の感性はまちまちだということでしょう。残念ながらナポリの夜景は見たことはありませんが、個人的には香港よりも函館の夜景が日本三大夜景と比べてもかなり素敵だと思っています。



先日、分校2年生研修旅行の事前学習で「島根を元気にする活動に取り組む視点とは」と題して県教委教育魅力化特命官の岩本悠氏の講演がありました。「海士町や隠岐島前高校の魅力化に取り組んだ際に、最初は自然があるとか、都会にないものがあるという点をアピールしてきた。実際来てみると思ったほどでないと思う人もいて、期待と実際に対する感覚の違いからうまくいかなかった。しかし、“ない”ことを売りにしたらそれがなくなった。発想の転換で見方は全く違ってくる。」という話がありました。「知名度が低く訪問者が少ない場所も、秘境と銘打てば人の見る目が変わるようになる。これも発想の転換。」という話もありました。ちなみに、日本の三大秘境は、合掌造りの集落が残る岐阜県の世界遺産の白川郷。清らかな溪谷にあるかずら橋で有名な徳島県の祖谷(いや)。最近知った場所でぜひ行ってみたいと思っている焼畑農業が世界農業遺産に認定されている宮崎県の椎葉村(しいばそん)の3か所です。

フリーアナウンサーの河野景子氏の講演を聴く機会がありました。相撲部屋である貴乃花部屋のおかみさんもされていた方です。貴乃花部屋は2010年から椎葉村で合宿をされました。景子氏の恩師が退職してこの村で教員のための心の教育をする塾をされていたことがきっかけだったそうです。日本人として、力士としてどんな生き方をしていけばいいのかを話して欲しいという依頼をしたそうです。条件は、東京で力士に話すのではなく、なにもない不便な椎葉村で話すこと。宮崎空港から大きい力士を車に乗せて狭く険しい山道を何時間もかけて行ったそうです。携帯もつながらないこの村で、自分や相撲と向き合う時間がとても有意義で、仲間同士の絆も深まり、力士は不満どころかまた行きたいと口々に言ったそうです。

本校演劇部が上演した「ローカル線に乗って」で、みんなで坂本九さんの「上を向いて歩こう」を大合唱するシーンがありました。私の初任地は隠岐でした。20代前半だったこともあり、また瀬戸大橋の架かる前の四国で大学時代を過ごしたこともあって、自分の力では本土に行けない不自由さや、フェリーが欠航するとスーパーから物がなくなるなどの不便さなどから、最初はカウントダウンカレンダーをつくって過ごす日々でした。一人で歩いて帰るような時に、よく夜空を見上げながらこの歌を口ずさんでいました。今でもスマホの朝のアラーム音楽にしています。ですが、隠岐での4年間は教員人生で大事なものをたくさんもらいました。隠岐に赴任した時に出版された岩波新書『豊かさとは何か』。今読んだらまた違う感想になるかもしれません。